

久地まちづくり協会

第46号(春号)

編集発行

久地地区社会福祉協議会

広報部

令和5年6月発行

久地まちづくり協議会 発足

久地社会福祉協議会 会長 藤田 富男

3月26日久地集会所にて21名の出席者で設立総会を開き、規約の制定、役員の選出等を協議・決議して当協議会が発足しました。

当協議会は、広島市が策定した「広島市地域コミュニティ活性化ビジョン」に基づき市民主体のまちづくりを推進する[新たな協力体制]【広島型地域運営組織「ひろしまLMO(エルモ)」】の構築に先導的に取り組む団体です。

“地域運営組織(LMO:エルモ)”の英語訳

・地域L:Local(ローカル)・運営M:Management(マネージメント)・組織O:Organization(オーガニゼーション)

29日には、広島市役所にて当協議会を含めて9団体の認定式が行われました。

認定式での藤田会長の決意発表を以下に要約

私たちの住んでいる久地は、自治会加入は100%近い加入率の地域ですが、住民の減少により現在300世帯を切るまでになっています。また3年前には小学校閉校により、地域コミュニティも難しい状況になっています。

そんな時、広島市の新たな事業で地域組織を横断的に活動できる「地域コミュニティ活性化事業」を知りました。この事業に参加することで今後の久地地区を守って行くことが出来ると思い、連合自治会長さんとも相談して手を挙げることに決めました。まず、地域住民の意見を聞くため全世帯を対象にアンケートを取り、個人では解決できない多くの要望が渦巻いていることに驚き、改めてこの事業の必要性を痛感しました。

短期間での申請でしたが、地域住民の方々、広島市職員の指導・援助もあり、認定にこぎつけました。皆様に感謝します。

最後に、久地まちづくり協議会結成のスローガンである「若者が輝き、高齢者が活き活きと生活できるまち」のため奮闘します。共に頑張りましょう。

●久地まちづくり協議会：役員

役職	氏名	地区	備考
会長	藤田 富男	本郷上	現 久地地区社会福祉協議会：会長
副会長	中野 幹夫	宇賀	現 久地地区連合自治会：会長
副会長	大石 康朗	魚切	現 久地収穫祭実行委員会：委員長
事務局長	中村 三郎	小野原	前 久地地区連合自治会：会長
会計	正月 良明	間野平	現 久地地区社会福祉協議会：副会長
監査	上土井 柁	本郷上	元 久地地区社会福祉協議会：会長
	田村 裕則	くすの木台	現 久地収穫祭実行委員会：事務局長



今和5年度の 総会開催

5月14日

久地集会所にて新年度の総会を開催しました。

役員18名、

来賓者3名の

出席の中、

来賓者の挨拶を頂き、

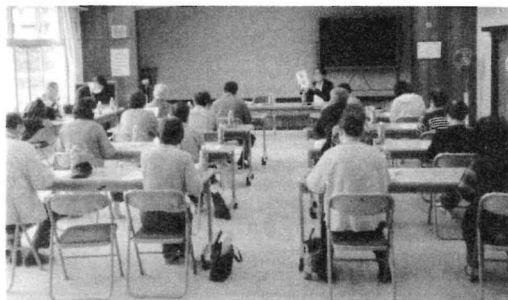
昨年度の活動報告、決算報告、監査報告を行い、

新年度の活動計画(案)、収支計画(案)、及び新年度の役員(案)を審議して、原案のとおり可決しました。

総会終了後、参加者全員が消防団指導のもと、消火器を用いた消火訓練をしました。

コロナ感染も収束する方向に向かっていきます。今年度は社会福祉委員一同、活発に活動していきます。

コロナ感染も収束する方向に向かっていきます。今年度は社会福祉委員一同、活発に活動していきます。

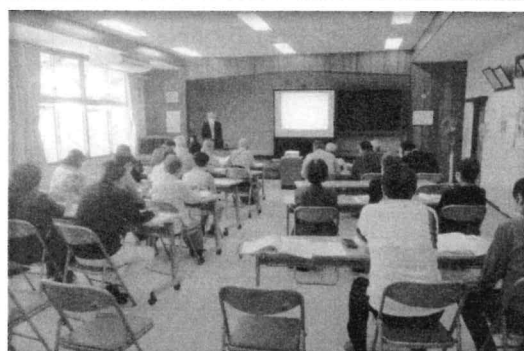


環境講習会を 開催しました

5月21日久地集会所にて各自治会会長を含め27名のご参加をいただき、講師・広島医療生活協同組合 理事長・坂本裕氏により、「上安産業廃棄物最終処分場問題」についてお話をいただきました。

講話内容は、処分場が始まった時期から現在に至るまでの経緯、現在の色々な問題点などお話をされて、下流域への影響が良く理解出来ました。

講話内容は、処分場が始まった時期から現在に至るまでの経緯、現在の色々な問題点などお話をされて、下流域への影響が良く理解出来ました。



ふるさとまちあるき 「久地にいこう」

”安佐&日浦公民館 共同企画行事”で、4月23日に実施しました。

出席者21人(参加者15名、スタッフ6名)で、旧久地小学校(スタート)↓水口神社↓金山坑道口(鉱山跡)↓西正寺↓金山神社↓山城の、清水が城、跡を展望し、午前中に歩きました。

参加者15名の中には町外からも数人参加されました。水口神社は、管理されている地元の佐々木信幸さんに神社を開けていただき、絵馬などを見る事ができました。

坑道口があった対岸の鉱山跡では、銅山が開発された経緯など説明を聞きました。最盛期の賑わい等は今では想像出来ないもので、参加者の興味を引いたようです。

西正寺では住職に対応していただき、本堂で西正寺の由緒を詳しく説明してもらいました。

金山神社は人里からは見えない山の麓に鎮座している祠で、地域住民の守り神として今でもお祭りが行われているということです。

予定していた氷室跡は時間に余裕がなく、今回割愛することになりました。

2時間足らずの史跡を見ながらのまち歩きでしたが、参加者は押しなべて熱心に説明を聞き、活発に質問も交わされました。

記 郷土史家：石倉統津彦





本郷地区①



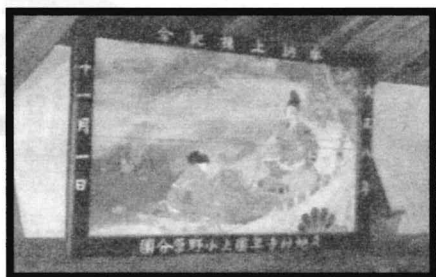
～水口神社～



水口神社の由緒書によると、「当神社はもと久地村北原、現在の川井北原古八幡に鎮座されていたが、社殿が火災にあい、その時御新幣がこの地、水口に飛来し、櫓の木にかかり給うた。そのため250年前の享保9年(1720年)9月現在地に神社が再建されて今日に至っている。以上は水口神社の古記録である」と。

祭神は帶中津日子命＝仲哀天皇、品陀和氣命＝仲哀天皇の御子で応神天皇、息長帶日売命＝仲哀天皇の後で神功皇后の3神で、八幡宮の祭神である。八幡宮はヤハタノカミに菩薩号を奉った「八幡大菩薩」を祭る神社で、早くから神仏習合をなした神社であり、日本で最も数が多い。当神社も「水口八幡宮」とするのが正式であろう。また水口とは、水田耕作などに供給する神聖で大切な水の出るところである。

水口神社にはたくさんの絵馬がありますがその中で久地青年団がこの地区で果たしていた役割が想像できた絵馬と力石があったので紹介します。



この絵馬は 大正8年、久地村青年団上小野原分団寄贈となっている。

この絵馬は『桜井の別れ』の場面です。室町時代の始め、楠正成が息子の正行に別れを告げている場面です。楠正成は天皇方で足利尊氏側との戦に負けるのを覚悟で出征するが、自分が死んでも息子、正行にも主君に忠義を果たすよう諭す有名な場面です。

当時の青年団の意気込みのようなものを感じます。

力石

水口神社境内にある力石、昔の青年たちは祭りの時など、この石を持ち上げどこまで運べるか力比べをしていたのではなかろうか？

昔は「いざ！」とい時には力持ちで元気な青年団が地域の推進役だったと聞いている。



愛の灯火



次の皆様よりご寄付を頂きました。皆様の地域福祉事業に対するご理解、ご協力に感謝致します。福祉事業に有意義に使わせていただきます。有難うございます。

香典返し

中富 康範 様

ありがとうございます

ございました。



(令和四年十二月一日から

令和五年四月三十日まで)

令和5年度 久地地区社会福祉協議会 委員

役職	地区	氏名
会長	本郷上	藤田 富男

広報部会

役職	地区	氏名
部長	名原	屋野丸幸子
委員	高畑	下戸 喜夫
委員	鹿野巣	沖川ひとみ
委員	野冠	内藤みゆき
委員	川井	川井田記子
副会長&事務局長	間野平	正月 良明

高齢者部会

役職	地区	氏名
部長&役 監査	本郷中	佐々木ルミ子
委員	本郷中	新田えみ子
地域推進委員	間野平	小野千恵美
委員	本郷下	妙見 浩次
委員	追崎	前田 勝美
委員	宇賀	中野 哲治

地域協力部会

役職	地区	氏名
部長	宇賀	大田 信子
監査役	本郷上	堀本 幸江
委員	長沢	山下千恵子
委員	長沢	岡本 和枝
委員	小野原	竹岡 妙子
会計	三国	竹田 和子

よろしくお願いいたします。

なんでも相談会

毎週月曜日、水曜日、金曜日
九時三〇分から十一時三〇分まで
社協役員が常駐しています。
お気軽にお立ち寄りください。
事務所に電話設置しています。
電話番号〇八二一八三七〇九三五



おはぎ配食

ひとり暮らしの皆様と在宅で介護されている皆様にお配り致しました。

三月二十一日 お彼岸の日



資源ゴミの回収について

資源ゴミの回収にご協力いただきありがとうございます。

令和四年度収入 一〇三、一八〇円



年間収集日

毎月第2・4金曜日